

2022年

8月号

農林水産省  
北海道農政事務所  
北見地域拠点

ず〜むあっぷい★

幌  
幌  
峠  
峠

オホーツク

「ところピンクにんにく」

2022年3月31日

地理的表示(GI)保護制度登録

地域の特産品への想い!

常呂町農業協同組合(北見市)



## 地域に根付いていた在来種

北京五輪での女子カーリング銀メダル獲得で脚光を浴びた北見市常呂町。かつて、日本一の栽培面積を誇った特産品がこの町にありました。それが地域の在来種で、外皮が淡いピンク色のにんにくでした。明治の開拓期から貴重な栄養源として食されていたそうです。しかし、栽培コストの高騰や外国産の台頭、大規模かつ機械化が導入された作物が浸透していくなか、次第にその栽培面積は減っていきました。

## 復活を目指して

先人たちの食文化、一時代を築いた産業を復活できないか。2011年に常呂町農協が振興作物に位置づけ、機械導入、施設整備、栽培体系の確立等を行い、生産者の後押しを推し進めた結果、2016年に「ところピンクにんにく」と名付けられ30年ぶりに生食向けの出荷が再開されました。



▲6月末の栽培風景

## GI登録とブランド化

地理的表示(GI)保護制度とは、生産地等の特性が、品質等の特性に結びついている製品の名称(地理的表示)を知的財産として登録し、保護する制度です。また、GI登録を契機に知名度があがり、引き合いが増えたり価値が高まったという例もあります。

GI登録=ブランド化成功という単純なものではありませんが、常呂町の場合、登録に至るまで、農協と各生産者が結束し、安定的な生産量確保、栽培技術の共有、品質向上に取り組むきっかけになり、登録に結びついた際には、大きな自信と地域の誇りを感じているように映りました。

本年3月のGI登録後、初めての収穫が始まる季節になりました。最近、メディアへの露出が増え、加工品もさらに充実するという「ところピンクにんにく」に注目です。